

# 奥村あきこ レポート



ブログもご覧ください 『奥村あきこ』 で検索！

奥村あきこ事務所	中央区月島1-24-2
	電話 3531-7136
区議団控室	電話 3546-5575
中央地区委員会	電話 3551-6820

## 2015年度決算の認定に反対 大型再開発優先から、暮らし・福祉充実へ

9月30日から10月12日まで、決算特別委員会が開かれ、日本共産党区議団からは、おぐり智恵子議員と加藤ひろし議員が委員となり、15年度決算を審議しました。

2015年度は、認可保育所の増設、特養老人ホームの定員拡大、小学校の増改築などの施策が予算化され実現しているものの、再開発事業に莫大な予算を投じる一方、「受益者負担の適正化」の名のもとに区民負担増が拡大している点などを踏まえ、各会計決算に反対しました。

### 大規模再開発事業の増大

区内では選手村が造られる晴海地区を含め、再開発事業が32事業も進められており、15年度の市街地再開発事業助成は、7事業に80億円が支出されました。

「銀座6丁目・松坂屋跡地」

や「日本橋2丁目・高島屋周辺」などのオフィス・商業施設の再開発にもそれぞれ13億円もの補助金が投入されています。国や都の「国際競争力を高める」都市づくり路線にのって、規制緩和や区道の改廃で大サービシ、超高層・超過密な都市づくりをすすめることを抜本的に見直すよう求めました。



### 区立駐輪場有料化は撤回を

区は、今後、財政が厳しくなるとして、区立駐輪場の有料化、放置自転車の撤去・保管料の徴収を導入しました。

しかし、駐輪場登録台数が予算計上時の想定の半分にとどまっていることは、区民の理解が得られていないことの表れです。

放置自転車の増加も問題です。駐輪場は無料に戻すべきです。

### 待機児童解消に向け努力を

急激な人口増に福祉施設などのインフラ整備が追い付かず、待機児童は増加の一途です。さらに認可保育園を増設して、早急に待機児童ゼロにするために力を尽くすよう求めました。

### 少人数学級の早期実現を

教員の多忙な実態を解消するため超過勤務を減らし、子どもたち一人一人に目が届くきめ細かな指導ができる少人数学級を小・中学校すべての学年で実施するため、国の方針を待つという消極的な姿勢を見直し、区独自に早急に実施することを求めました。

【次ページへ】



## 国保など保険料の軽減を

国保・介護・後期高齢者医療会計は、保険料の見直しごとに加入者負担が増加し、滞納世帯も増加しており、すでに区民の負担能力を超えています。

社会保障費の削減を押し進める国に対して、国庫負担を増やし責任を果たすことを求めること、区としても保険料を軽減し、サービスの抑制・低下を招かないよう財政投入することが必要です。



国や都の悪政に対して、中央区は「防波堤」となり、国や都に積極的に働きかけを行うと同時に、人口増に伴う税収増や各種基金の積極的活用で、区民の暮らし・福祉を充実させる区独自の努力が求められます。

## 大盛況！「豊洲移転問題を考える集い」

### 〜 かつ佳代子都議会議員より経過を報告 〜

11月3日、月島区民館で、日

本共産党区議団と党中央区地区委員会主催の「豊洲移転問題を考える集い」が開かれ、会場いっぱい

の100人を超える人が参加しました。

かつ佳代子日本共産党都議が、豊洲新市場の土壌汚染対策をめぐって、パネルなどを活用し、都議団が独自調査で盛り土が行われていたかったことを突き止めた過程などを報告しました。

あわせて豊洲移転計画について、築地市場の跡地開発との関係などの問題点を指摘しました。

会場からは、質問や要望が途切れることなく上げられました。参加者からの声の一部をご紹介します。

・「今日参加して大変勉強になりました。築地市場仲卸の店として6代目になるが、今まで一度も市場から病人が出たことはない。安全なのは確かなこと。」

・「小池都知事でなければ、11

月に開場していたことを思うと本当に恐ろしい。食の安全を。」

・「巨悪は許さない、とのみなさんの気持ちはこのようなどんでん返しを導いたと思っています。巨悪の石原氏の責任問題を絶対に追求してください。」

・「豊洲の土地取得絡みの暗部を感じる。石原氏の証人喚問を。」

・「この問題は、与党・野党を超えた日本全体の問題であり、日本の恥にもなりえる。仮に安心・安全宣言をされても豊洲では買いに来ない人はいないと思う。」

日本共産党区議団は、都議団、そして区民、市場関係者の皆さんと力を合わせ、食の安全・安心をまもるため、豊洲移転問題の疑惑追及、築地での現在地再整備実現めざして頑張ります。



会場いっぱいには区民、市場関係者などが集まり、立ち見もできました。

